

三桜酒造跡地における 公共活用基本方針策定

第 3 回検討委員会

2023年11月8日

1. アンケート・ヒアリング調査結果・・・p3

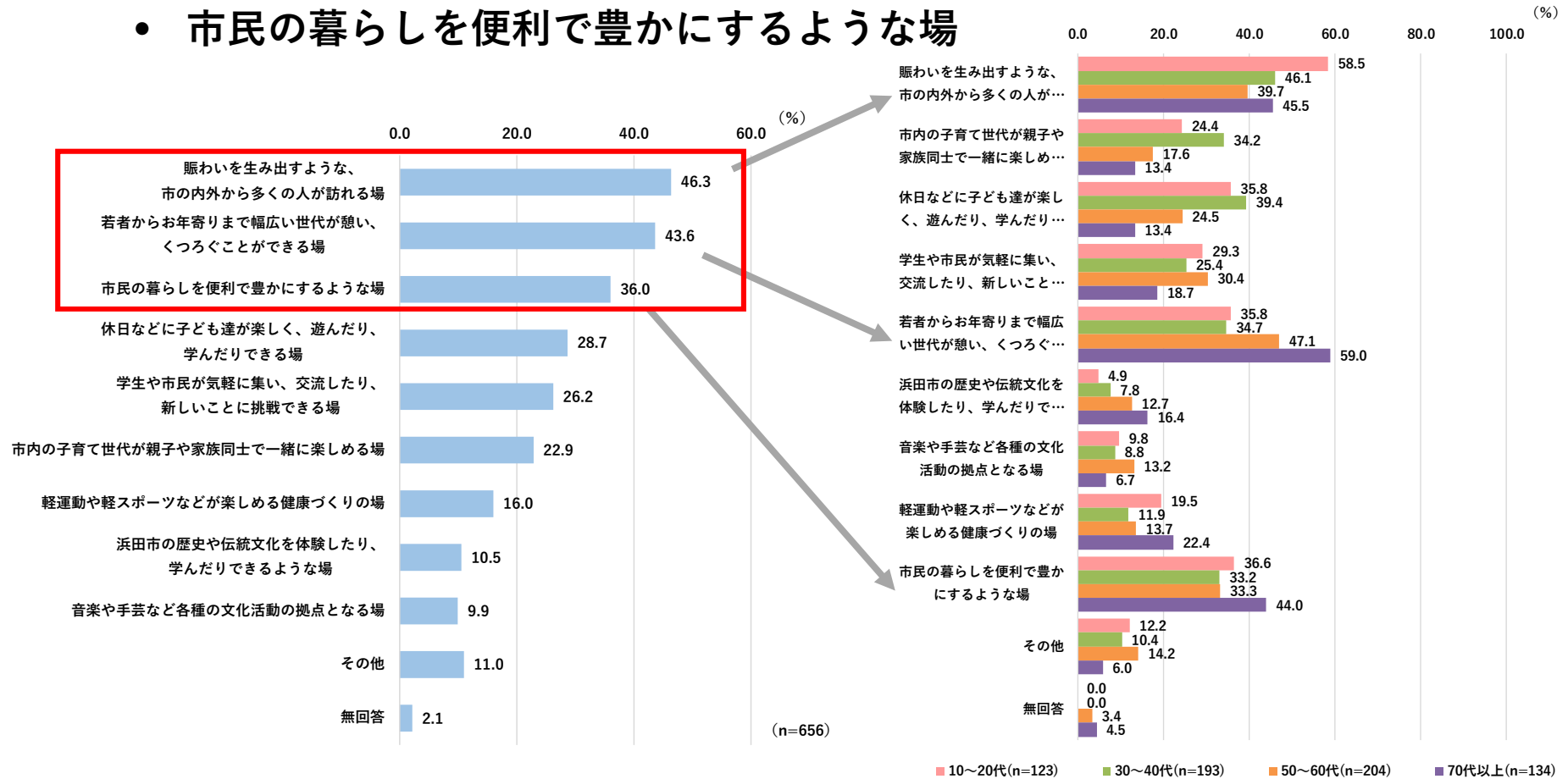
2. 第2回検討委員会での主な意見・・・p8

3. 利活用の方向性(案)・・・p12

アンケート・ヒアリング調査結果（まとめ）

● 市民アンケートでは、三桜酒造跡地の活用イメージとして、以下の項目が上位になっています。

- 賑わいを生み出すような、市の内外から多くの人を訪れる場
- 若者からお年寄りまで幅広い世代が憩い、くつろぐことができる場
- 市民の暮らしを便利で豊かにするような場



アンケート・ヒアリング調査結果（まとめ）

- より具体的な利用シーンとしては、各年代で上位に入っているものは以下のとおりです。
 - 小さい子ども連れでもゆっくりお茶や食事を楽しむ
 - 雨の日でも子ども達が屋内で楽しく遊んでいる
 - 市民がゆったり、木陰で休憩や散策している
 - ママ友や高齢者などがゆったり歓談している
 - 学生が学習したり、まちづくり活動をしている
 - マルシェなど多様なイベントをしている（若い世代で比較的多い）

- ヒアリングでは、カフェなどが併設された市民がくつろげる空間（広場など）で気軽に過ごせる空間であったり、マルシェやイベント等が開催されるような空間が望まれていると思われます。また、中規模程度のホールがなく、サークル活動の発表の場やイベントなどが開催しにくいという話もありました。

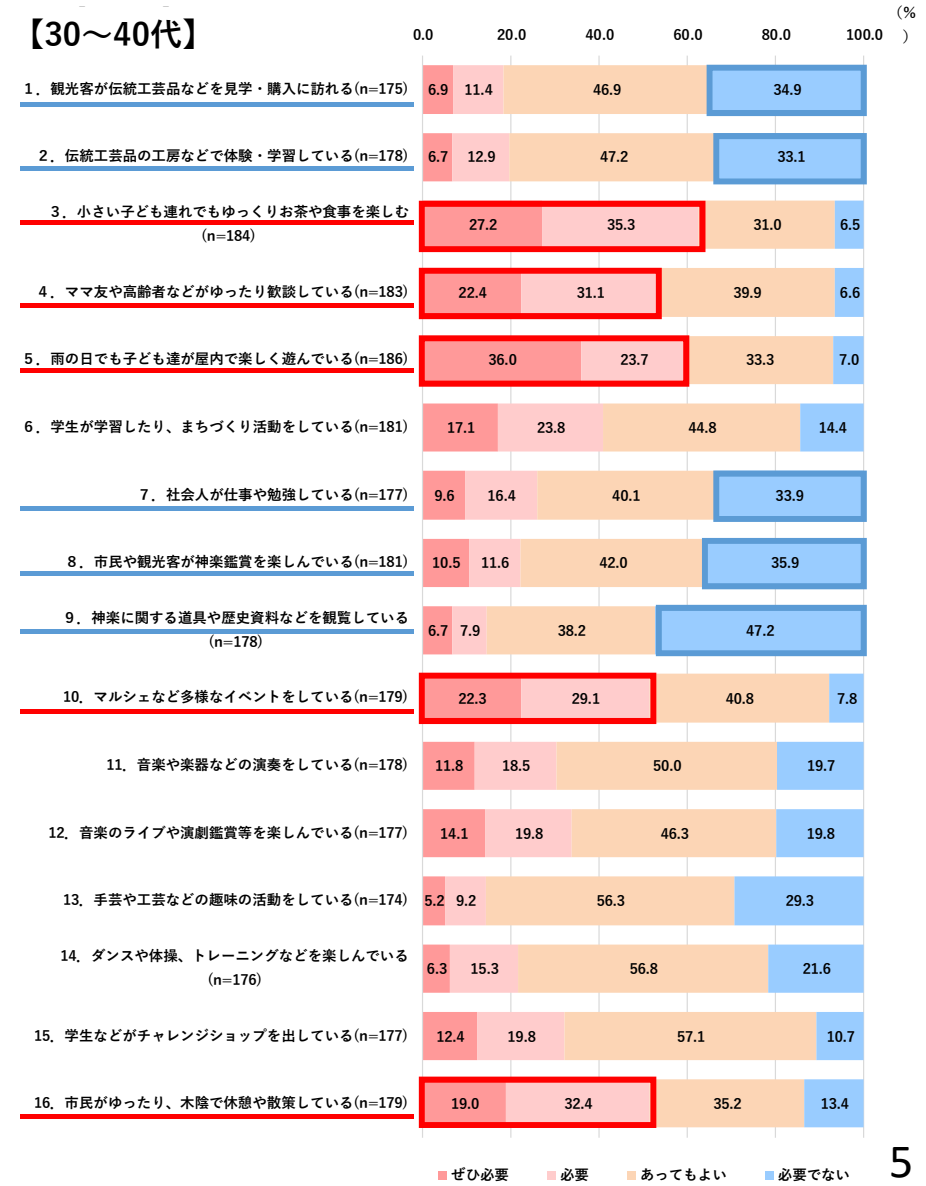
市民アンケート（配布）

問9. 問8で選択した「場」を実現するために、あなたが想定する利用シーンについて、お答えください。【年代別】

【10～20代】



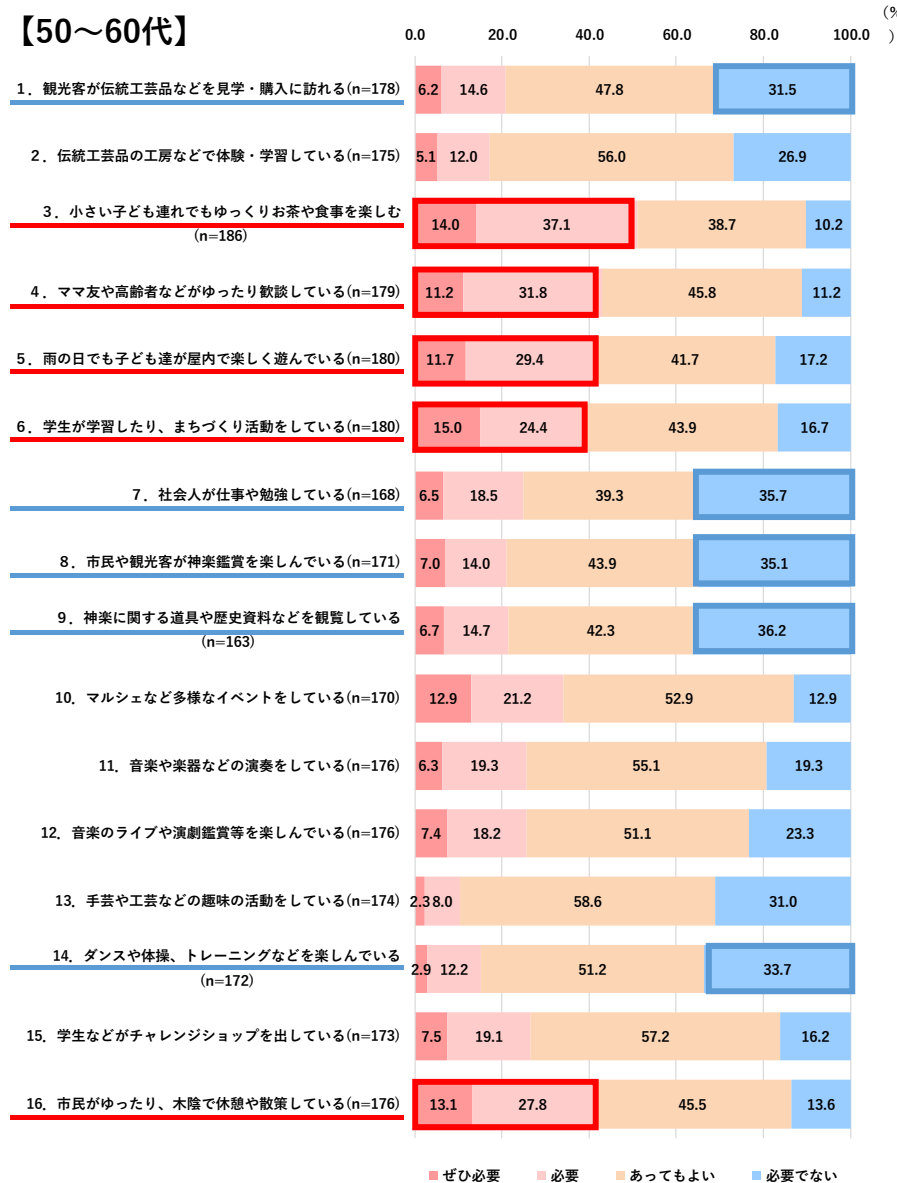
【30～40代】



市民アンケート（配布）

問9. 問8で選択した「場」を実現するために、あなたが想定する利用シーンについて、お答えください。【年代別】

【50～60代】



【70代以上】



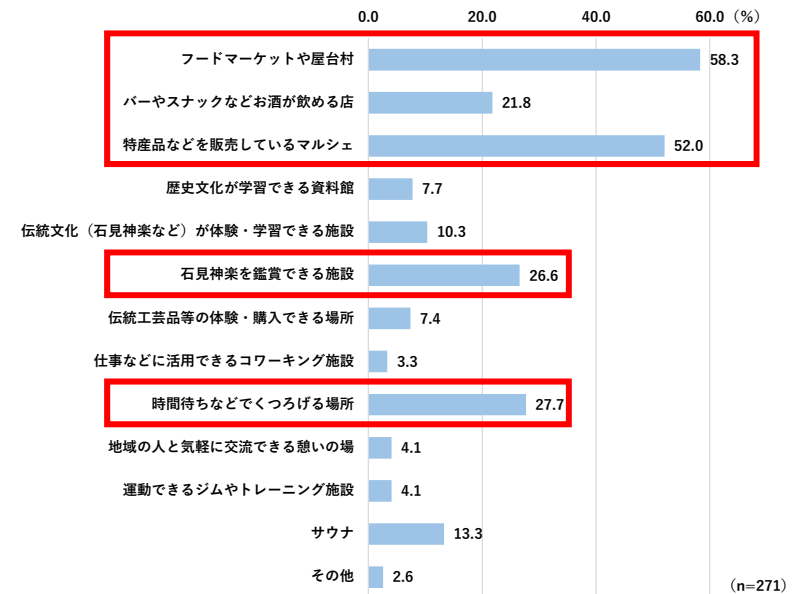
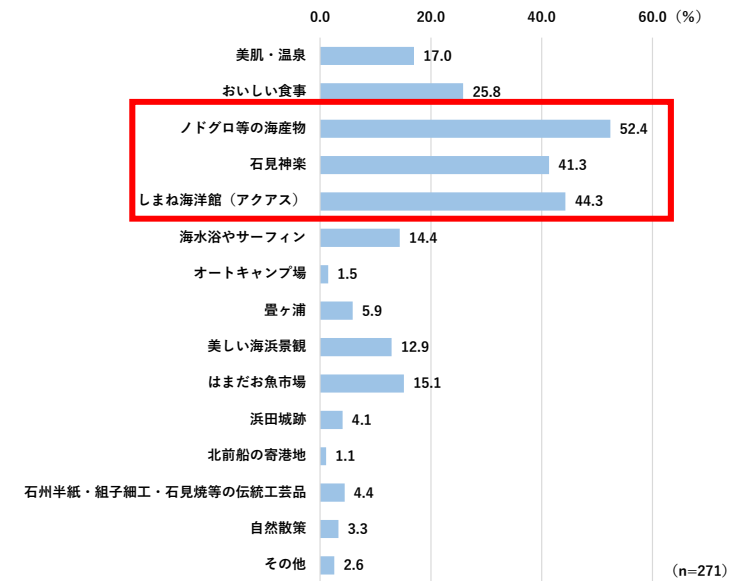
宿泊者アンケート調査結果（まとめ）

- 宿泊者アンケートでは、浜田市の観光イメージとして、以下の項目が上位となっており、40%以上の人を選択しました。

- ノドグロ等の海産物
- しまね海洋館（アクアス）
- 石見神楽

- 宿泊者にとって駅周辺にあったら利用したいと思う施設としては、浜田ならではの飲食やお土産を購入できる場の他、ちょっとした時間を快適に過ごせる空間を望む声がありました。また、石見神楽を鑑賞できる施設への需要も一定数あることが確認されました。

- フードマーケットや屋台村
- 特産品などを販売しているマルシェ
- 時間待ちなどでくつろげる場所
- 石見神楽を鑑賞できる施設
- バーやスナックなどお酒が飲める店



第2回検討委員会での主な意見

◆利活用の方向性について

(出席委員14名)

- ①市民利用が主体のにぎわい空間の創出：14名
- ②観光客が主体のにぎわい空間の創出：8名
- ③民間活用（カフェ等も含む）：8名

- 検討委員全員から市民が日常的にくつろげたり、多様なイベントが開催され、賑わうような場が望ましいとの意見が出た。

- 上記に加え、浜田市の玄関口の一つであるJR浜田駅周辺の立地特性を生かし、観光客やビジネス客等の来訪者に浜田の特性（石見神楽や特産物等）を伝える機能もあった方がよいという意見も多かった。

第2回検討委員会での主な意見

①市民利用が主体のにぎわい空間の創出のイメージ

- カフェや雑貨店などがある市民が自由にくつろげる広場
- 通勤・通学及び買い物などの合間にゆっくり過ごせる居心地のよい空間
- 子どもとゆっくりできる施設
- 各種のパフォーマンス、マルシェ・朝市やフリーマーケットなどが開催される空間を有し、観光客や来訪者にも賑わいが感じられる施設

↳ 浜田市に住むメリットにつながるような施設



福山市中央公園



山代スマートパーク（加賀市）



イチ セトウチ（福山市）



市民交流広場（屋根有）
パレットごうつ（江津市）

第2回検討委員会での主な意見

②観光客が主体のにぎわい空間の創出のイメージ (マルシェ等のイメージ)

- マルシェやカフェなどその土地でしか味わえないものがあれば観光客も喜ぶ
- 屋台村や特産品店の集合施設（ひろめ市場：高知市）がにぎわい創出の参考になる



ひろめ市場（高知）

(神楽伝承施設)

- 駅前の神楽時計や案内看板、神楽の石像などを設置しており、「どんちっち」を浜田の特徴として情報発信しており、市内外に石見神楽を発信する核となる神楽伝承施設は駅周辺部にあることが望ましい。
- 市民が神楽を身近に感じられるような施設も必要。
- 三桜酒造跡地で整備するのであれば、防音対策は必要。
- 神楽ホールや中規模なホールを導入した場合、大きな駐車場を付帯させないと利用が難しい。
- 観光客の多くはJRやバスでなく車でくるので、神楽伝承館は他の場所がよい。
- 神楽伝承施設は必要とを感じるが、ここではない気がする（もっとふさわしい場所があるのでは）。



神楽門前湯治村（むらくも座）



神楽門前湯治村（売店・展示スペース）

③民間活用のイメージ

- カフェ、飲食スペースは民間で。
- ブック・アクセサリなどの物販施設。
- 朝市やフリマなどイベントの企画運営に民間のノウハウを活用。



公園と一体的なカフェ
(東京)

第2回検討委員会での主な意見

◆にぎわい創出について

- 市民が利用しないと「にぎわい創出」にはつながらない。
- 市民が喜ぶ施設でないと観光客も来ない。
- にぎわいづくりは公設で作って失敗しているものが多い。民間活用や民間のノウハウを生かせる整備手法が必要。
- 観光客が主体だとにぎわいも一時的で、長期的な活気にはつながらない。
- 神楽は観光客だけでなく、市民利用の一つである。
- 三宮神社での夜神楽の公演は、現在土曜日の夜だけであり、専用施設になるとにぎわい創出につながらないので多目的に使える施設にすべき。

◆利活用の方針決定に向けて

- アンケートでの意見は、浜田駅周辺全体で実現すべき内容も網羅していると考えられる。点ではなく面で考える必要がある。
- にぎわいづくりに向けては、ハード先行ではなく、社会実験をしながら決めていく方法もある。

利活用の方向性（案）：活用にあたっての基本的考え方

【活用にあたっての基本的考え方】

市民による多目的・多用途な利用を中心に、市の内外から多くの人を訪れ、賑わいのある公共用空間となるような整備・活用を求める。

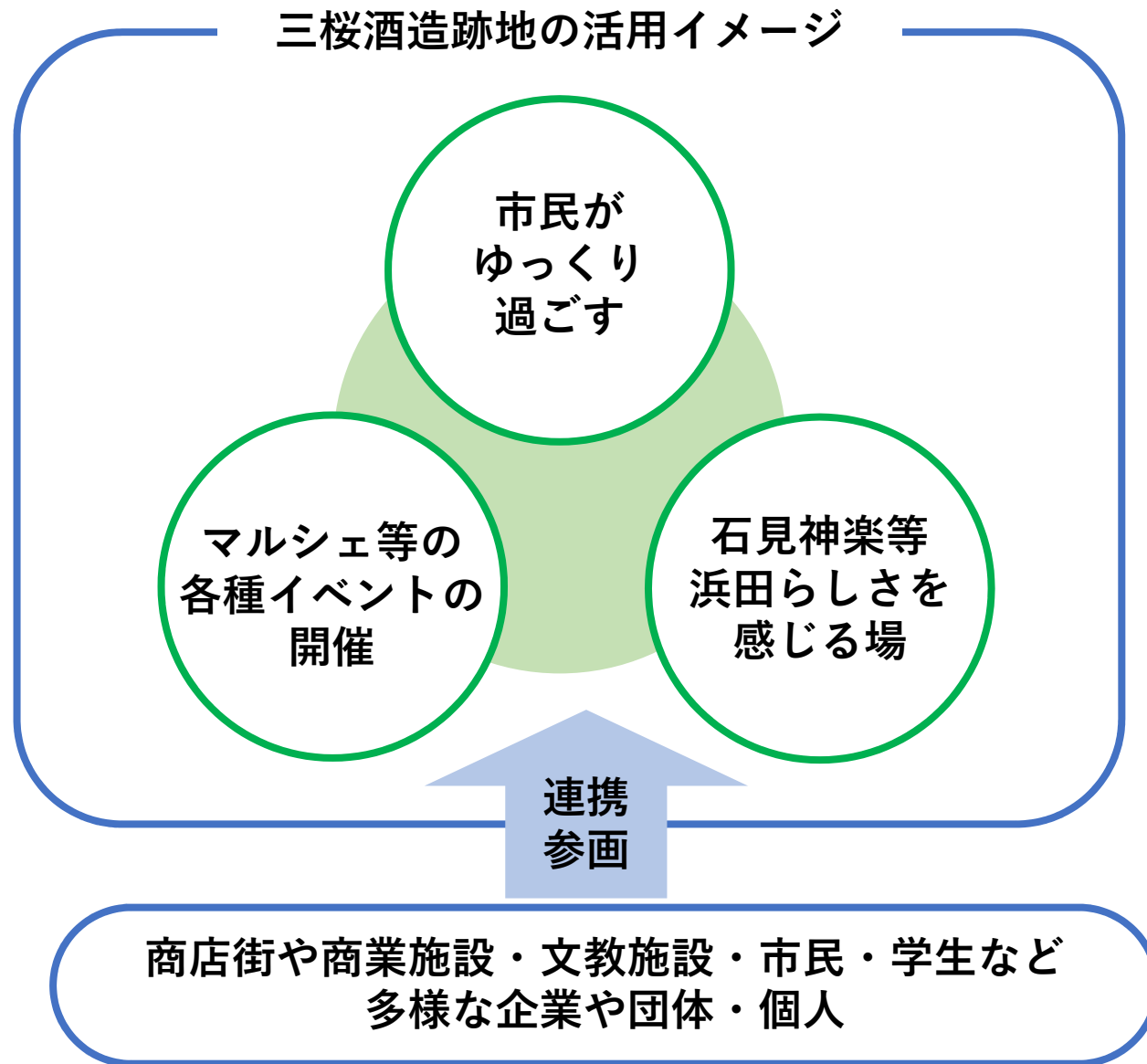
【活用のイメージ】

- 普段は市民の誰もがカフェや広場でゆっくり過ごすことができる場
- 週末や休日には、マルシェ・朝市、フリーマーケット、各種イベントなどを開催できる場
- 浜田市の伝統芸能である石見神楽など、市民や観光客が浜田らしさを身近に感じることができる場

【具体化に向けた検討課題】

- 市民利用が主体となる公共用自由空間を行政が整備し、にぎわいの創出には民間の活力やノウハウを生かす手法を検討
- 担い手（運営者や参画者などの協力者など）が必要不可欠であり、今後の基本計画の策定においては、運営・管理などの体制・ルールづくりを検討
- すぐに整備するのではなく、社会実験を実施しながら、具体的な整備を進める手法についても検討
- 駅周辺エリア全体で、既存施設や遊休施設などの利活用を整理したまちづくり構想も併せて検討

利活用の方向性（案）：活用にあたっての基本的考え方



利活用の方向性（案）：「石見神楽伝承施設」の設置について

『三桜酒造跡地利活用の一つとして「石見神楽伝承施設」検討のお願い』

1.提案内容

三桜酒造跡地の公共利活用策の一つとして、この場所で、「石見神楽伝承施設」を設置することについて、ご検討いただきたい。

2.提案理由

「石見神楽伝承施設」については、これまで、各方面から設置要望がありました。今般、財政面の目途が立ったことから、令和5年度施政方針で設置検討を表明。設置場所については、いくつか候補地がありますが、三桜酒造跡地を追加するかどうかについては、検討委員会での検討結果を踏まえて、検討させて頂きたい。

(第1回検討委員会資料より)

利活用の方向性（案）：「石見神楽伝承施設」の設置について

「石見神楽伝承施設」整備の候補地の一つとして三桜酒造跡地を追加することは差し支えない。ただし設置の可否については、市民アンケートや宿泊者アンケート、8ページ以降の検討委員の意見を踏まえ、以下の2点について市として十分検討した上で、判断することを求める。

- ・ 活用にあたっての基本的考え方にある「市の内外から多くの人が訪れ、賑わいのある公共用空間」となるような整備・活用ができること
- ・ 他の候補地も含めて適地として比較検証した上で適切な場所であること